

図書館だより

2022年7月号
徳島北高等学校図書委員会



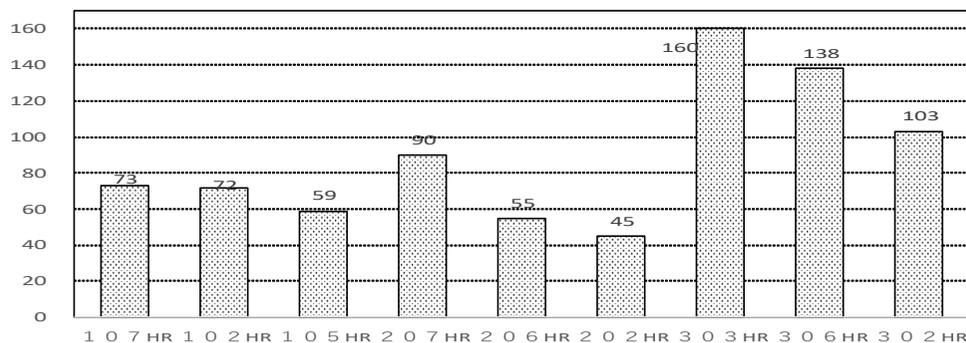
【図書委員からのメッセージ】

みなさん、こんにちは。テストも終わり、いよいよ夏休みですね。みなさんは、夏が好きですか？私は大好きです！なぜなら、とても「爽やかで青春でエモい」からです。かなり今風の表現になってしまいましたが、「エモい」というのは古語でいう「あはれ」とほぼ同じ意味らしいですね(Google調べ)。

みなさんは、気になったことをすぐに調べますか？最近ではスマホでなんでも調べられますよね！ですが、是非一度、本でも調べて欲しいです！図書館には沢山の本や辞典があります。お仕事の本も沢山あるので、あなたの将来の夢を見つけることができるかもしれません。

どの本を読めばいいのか分からないそのあなた！図書室には優しい司書の先生がいますよ！自分の興味のある本に出会えるはずですよ。夏休みは、ルールを守って穏やかに図書館で過ごしてみませんか？

学年別クラス別貸出冊数BEST3(4~6月)



夏休みの開館予定(開館時間 9:00~17:00)

7/21(木)・22(金)
7/25(月)~27(水), 29(金)
8/1(月)~5(金), 8/8(月)~10(水)
8/16(火)~19(金)
8/22(月)~26(金)

※ 図書館入り口で図書館カレンダー配布中!

図書委員のおすすめ本(全て図書館にある本です)

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』 汐見夏衛 著 スターツ出版

201HR図書委員

私が5回以上読み返した本を紹介します。この本はまず美しい色彩で描かれた表紙に魅了されます。ですが、美しいのは表紙だけではありません。文字だけで書かれているはずなのにページをめくる度に様々な美しい色が見えてくるのです。嘘ではありません、是非、体験してみてください。

この物語の主人公の女の子はマスク依存症です。「コロナ」流行前に書かれた物語なのですが、今の私たちは、より共感できる所が多いのではないのでしょうか。主人公に感情移入すればきっとあなたは新しい世界を見ることが出来るでしょう。

スマホでまた意味の無い時間を過ごしてしまったなど感じる人は、是非、本を手にとってみてください。有意義な時間を過ごすことが出来ると思いますよ。

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』 相沢沙呼 著 講談社

202HR図書委員

この物語は、推理作家として難事件を解決してきた香月史郎と、霊媒師である女性の城塚翡翠が出逢うことから始まります。翡翠の霊視と、香月の論理を組み合わせながら、事件に立ち向かっていくというオカルトとミステリーが融合したような作品です。私も読んでみましたが、衝撃的な結末で驚きました。

かなりページ数が多いのですが、その分読み応えは抜群です。長い夏休みの間にぜひ一度読んでみてください。

『ウチら棺桶まで永遠のランウェイ』 Kemio 著 KADOKAWA

202HR図書委員

みなさんは、エッセイ本を読んだことはありますか？この本は、“Kemio”というYouTubeなどのSNSで人気のクリエイターの著書です。

この本は、本を読むのが苦手な人にもオススメ出来る本です。話し言葉で端的に書かれており、話の要点には線が引かれています。また、文字は適度に大きく、フォントの配置がオシャレなので、ページをめくるのが楽しくなります。そして、彼の波乱万丈な人生を手軽に読むことができます。私が好きな言葉は、「夢の理由は才能じゃなくて『やりたいからでしょ?』」です。みなさんもぜひこの本を手にとり、彼からの愛とエールを受け取っててください!